

取組事例紹介

「病児保育の要件明確化による仕事と子育ての両立支援」



鳥取県福祉保健部子育て王国推進局長

木本 美喜

平成31年3月22日



子育て王国とっとり

【建国宣言】 子どもは社会の宝。「鳥取に生まれて良かった」「鳥取で子どもを育てたい」とみんなが思える「子育て王国鳥取県」にしましょう。そのために行動を起こします。
2010年9月22日

全国に先駆けた多様な施策

■保育の充実

保育料無償化

- 中山間地域市町村の保育料軽減 ※2014～
- 第3子以降の保育料無料化 ※2015～
- 第2子の保育料無償化(条件あり) ※2016～

保育士加配

1歳児 6:1⇒4.5:1
3歳児 20:1⇒15:1
障がい児 1:1

2015～
3歳児は国制度化

13年連続

待機児童数

0人(年度当初)

2019.10～

国の幼児教育・保育の無償化開始

高い保育ニーズ

保育所利用率 66.7%(全国43.1%)

女性就業率
第5位

M字の窪みの浅さ
(女性の労働力率)
第1位

■その他子育て支援、教育の充実

在宅育児世帯への支援

→現金給付 or 現物給付 or サービス料軽減
0歳児を対象、月額3万円を上限 ※2017～

全国初

小児医療費助成の対象者を高校生

まで拡大(所得制限なし、自己負担あり) ※2016～

全国トップ

国基準より5人以上少ない児童生徒数で少人数学級を展開

合計特殊出生率の回復!

2008:1.43(全国17位)
→ 2017:1.66(全国7位)



鳥取発！地方分権提案

鳥取県が提案した「病児保育における看護師等の常駐化要件」が明確化されたことで、確保が難しい看護師等を効率的に配置した病児保育施設の開設が可能に！



＜提案前の国補助実施要綱（抜粋）＞

病児の看護を担当する看護師等を利用児童おおむね10人につき1名以上配置するとともに、病児が安心して過ごせる環境を整えるために、保育士を利用児童おおむね3人につき1名以上配置すること。

⇒常時配置すべきか不明確!!

提案により国補助要綱で配置しなくてもよい場合が明確化

＜提案後の国補助実施要綱（抜粋）＞

病児の看護を担当する看護師等を利用児童おおむね10人につき1名以上配置するとともに、病児が安心して過ごせる環境を整えるために、保育士を利用児童1名以上配置すること。

注書きの追加

（注）保育士及び看護師等の職員配置については、常駐を原則とする。ただし、利用児童が見込まれる場合に近接病院等から保育士及び看護師等が駆けつけられる等の迅速な対応が可能であれば、常駐を要件としない。

2



地方分権提案による成果

提案の実現により、医療機関併設型の病児保育施設が開設するなど、働きながら子育てできる環境の充実、女性活躍の推進に寄与しました！

成果 病児保育室とくよし（鳥取市）の開設

【病児保育室とくよしの運営体制】

3F 病児保育室とくよし

保育士

・病児保育室とくよしで勤務



2F 栄町クリニック

看護師

・栄町クリニックで勤務
・病児保育室とくよしに駆けつけられる体制を確保
・定期的な検診も実施



駆けつけ



- ・ 鳥取市の病児保育利用定員が倍増
- ・ 近隣市町村との広域利用が可能となり、2町（岩美町と八頭町）で病児保育を使えない状況が解消

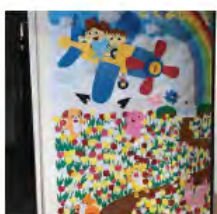
波及効果

人口や子どもの少ない中山間地域においては、

- ①利用児童数が不安定になりがち。
- ②必要なときに必要な人員を配置することが可能となり、安定経営につながった。

⇒採算性が課題の病児・病後児保育の裾野拡大に効果!!

⇒安心して仕事ができる環境づくりに寄与!!



【病児保育室とくよし】の入口



【病児保育室とくよし】の外観

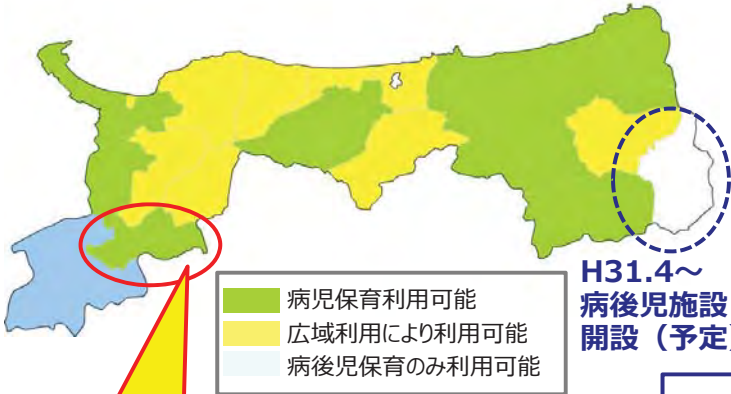
3



鳥取県内の病児・病後児保育

- ◆ 子どもが病気等で集団保育が困難な場合、保育所・医療機関等に付設された専用スペース等で保育・看護ケアを行います。
- ◆ 広域利用の取組により、病児・病後児保育の利用可能エリアが拡大しています！

病児・病後児保育利用可能エリア



病児看護センター
ヘアースタイルサービス
谷本こどもクリニック

2月7日(木)利用状況
※最終更新日時2019/02/07 10:37

部署	疾患	空き状況
保育室A	インフルエンザA/B	x
保育室B	急性支気管炎1名 急性咽頭炎1名	x
保育室C	R5ウイルス感染症 1名	o

せぐち小児科
ファミリークリニック

2月7日(木)利用状況
※最終更新日時2019/02/07 09:22

部署	疾患	空き状況
保育室A	急性咽頭炎2	o
保育室B		x
保育室C		x

＜＜＜ 遠隔保育室のパンフレット ＞＞＞

病児保育があるかも
博愛病院

2月7日(木)利用状況
※最終更新日時2019/02/07 09:00

vacant保育から

2019年2月7日(木)利用状況

部署	疾患名	空き状況
保育室A	インフルエンザA1名	o
保育室B	咽頭炎 1名	o
保育室C	青腸炎 1名	o

米子市内の3施設では、空き状況をHPにリアルタイム掲載

県独自の取組

- ☆ 国補助対象外の小規模施設運営費支援、新規開設時の国補助基準額を上回る施設整備部分へ助成
- ☆ **施設所在市町村以外の児童が広域で利用できる体制を構築した場合に助成**

日野病院に小児科医が2年ぶりに常駐!!
H30.7.1～病児保育施設開設!!
(平日・定員3名)

H31春、病後児保育空白エリアなし!! 広域利用のさらなる拡大で病児保育の全県化も推進!!

4

人口最少県でもできること、
人口最少県だからできることがあります。

◇ 県民と行政の距離が近く、官民一丸となって課題を解決

- ・課題は現場にあり
- ・県民自らの知恵出し、実践をしっかりと応援
- ・県民同士の顔の見えるネットワークを活用

◇ スピード感をもった行政としての意思決定

◇ 比較的少ない予算でチャレンジできる

◇ **現場の声を地方分権提案につなげ、地方の課題を解決**

- 2016年 就労継続支援A型事業における暫定支給決定不要基準の明確化等
- 2017年 文化財保護行政を首長部局へ移管することを可能とする規制緩和
- 2018年 児童養護施設への幼稚園教諭の配置

「子育て王国とっとい」

実現に向けて挑戦を続けます!



5